「ReacQ」

**要件定義書**

USK³

2021/06/01 第１版

改訂履歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 版数 | 日付 | 担当者名 | 備考 |
| 1 | 2021/06/02 | 川戸若葉 | 新規作成 |
| 2 | 2021/06/03 | 丑澤友輝 | 編集 |
| 3 | 2021/06/08 | 川戸若葉 | 編集 |
| 4 |  |  |  |
| 5 |  |  |  |
| 6 |  |  |  |
| 7 |  |  |  |

# 概要

以下に、「ReacQ」（以下、本システム）開発に関する概要を示す。

## システム開発の背景

（システム開発に至った経緯・背景を記載）

（今回は割愛）

## システムの目的

本システムは、オンライン研修において、講師がオンラインで分かりづらい受講者の理解度や反応をリアルタイムで可視化することを目的としている。

また、掲示板を設置することで、ヘルプに駆け付ける、ヘルプを求めることができる。タグ付けを行って項目ごとにまとめ、匿名で質問しやすくする。

## システムの全体像、開発方針

本システムは、Webサーバ１台とデータベースサーバ１台で構成される。

訪問者はWebサーバにhttpまたはhttpsでアクセスすることにより、本システムを利用することが可能である。

システム開発はJavaをベースする。

その他、jQueryを利用してユーザフレンドリーな操作性を提供する。

# システム要件

以下に、本システムの要件を示す。

## 機能要件

### 機能の概要

本システムは、以下のように大きく2つの機能を持つ。

・リアクション機能

・掲示板機能

それぞれの機能についての概要は以下の通り。

・リアクション機能

受講者がリアルタイムでリアクションを取れる機能である。

「説明できる、理解できた」「自力でなんとかできる」「ヒントをください」「全く分かりません」の4通りのリアクションを受講中に表示する。

リアクションによって、講師はスピードを落としたり、適切なサポートをしたりすることができる。

・掲示板機能

受講者が質問を公開することができる機能である。

タグで項目ごとに質問を分けることができる。

私も知りたいボタンで質問の重複を防ぎ、効率よく問題解決ができる。

受講者同士は匿名を使って、気軽に質問をすることができる。講師と事務局は質問者を確認することができる。

以上の機能を満たすため、以下の機能を実装する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大項目 | 機能名 | 備考 |
| リアクション機能 | リアクションボタン | 投稿できる、みんなのリアクションがリアルタイムで見れる、リアクションの一覧 |
|  | リアクション閲覧 | みんなのリアクションが見れる、リアクションの一覧、リセット |
|  | リアクション集計 | 1日の集計が見れる |
| 掲示板機能 | 掲示板一覧表示 | 掲示板の一覧 |
|  | 投稿詳細 | 投稿の詳細（返信、リアクション） |
|  | 投稿機能 | 質問を投稿できる |

### リアクション機能

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | リアクションボタン、リアクション閲覧 |
| 概要 | リアルタイムで受講者のリアクションが投稿出来る。  講師が受講者のリアクションを確認できる。  受講者の1日のリアクションを集計する |
| 処理内容 | ボタンが押されると画面に表示される。 |
| 想定利用者 | 受講者、講師 |
| 備考 |  |

・掲示板機能

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | 掲示板一覧表示、投稿、投稿詳細 |
| 概要 | 掲示板の一覧を確認できる。  掲示板に質問を投稿できる  掲示板に投稿された内容に返信、リアクションが出来る |
| 処理内容 | メッセージを取得し表示できる |
| 想定利用者 | 受講者、講師 |
| 備考 |  |

・アカウント管理機能

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | アカウント管理機能 |
| 概要 | ユーザーのアカウント管理が出来る。 |
| 処理内容 | ユーザー登録 |
| 想定利用者 | 受講者、講師 |
| 備考 | 受講者と講師で分ける |